

『令嬢ランキング～ランク圏外の落ちこぼれ令嬢、伝説の聖女と入れ替わる～』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『令嬢ランキング～ランク圏外の落ちこぼれ令嬢、伝説の聖女と入れ替わる～』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『令嬢ランキング～ランク圏外の落ちこぼれ令嬢、伝説の聖女と入れ替わる～』を読んだことのある20代～50代の男女23名
調査期間	2026年2月22日～2026年2月23日 2026年3月27日 2026年5月28日 2026年6月26日 2026年7月28日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/reizyouranking/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『令嬢ランキング～ランク圏外の落ちこぼれ令嬢、伝説の聖女と入れ替わる～』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	1人
20代女性	0人
30代男性	0人
30代女性	1人

40代男性	0人
40代女性	9人
50代男性	12人
50代女性	0人

Q2:『令嬢ランキング～ランク圏外の落ちこぼれ令嬢、伝説の聖女と入れ替わる～』の感想を教えてください。

1話	メリエル本人には悪いのですが、ビアトリスと入れ替わってからの展開がとても面白いです。生意気な口をきく相手に対して、きっぱりと言い返す姿が爽快でした。特に印象に残ったのはリアナです。リアナは落ち込んでいるメリエルを慰めるどころか、ぶつぶつと小言を言っていて、完全にメリエルを見下していました。それだけに、その後の反応が楽しめました。今回は状況確認というだけでしたが、それだけでもこの影響力です。本気でランキング一位を目指したら、どんな展開になるのか気になりました。
1話	婚約破棄から始まる漫画は数あれど、冴えないと見下され侮られていたヒロインを救い出してくれるのが素敵な王子様ではなく、自分のおばあちゃんというところが斬新で面白かったです。そのおばあちゃんが単なる高嶺の花な淑女ではなく、実はバリバリの武闘派だったというのもユニークで興味を引かれましたし、そもそも令嬢にランキングがある世界というのも目新しくて良いと思いました。
1話	最初何の話だろうと思っていたら、まさかおばあちゃんと孫が入れ替わっていた話だと知って驚きました。ちょうど無料の期間で読めたので、拝見させていただきました。主人公のそばかすと、ドキドキしている様子もありシンデレラのような話なのかな？と。そしたら、おばあちゃんもまた綺麗で、過去に意味ありげな展開になり。これから、苦しめてきた奴らを美しさで懲らしめてほしいです。
2話	早速メリエルがやってくれました。気に入らないからと婚約破棄を一方的に申しつけてきたエルトンには憤りを覚えていたんですね。メリエルの想定外の対応に怖気づくエルトンの姿は見物でした。一方で、パルマ王国の第四王子クレインが気になりました。今のメリエルを見て求婚するのなら、わからないでもありません。しかし、状況的にいって、クレインが求めているのはメリエル本人でしょう。どういった思惑があってメリエルに求婚しようとしたのか、注目したいです。
2話	おばあちゃんと入れ替わる前のメリエルは、オドオドとした態度と自信なさげな表情のせいで、周囲の評価通りあまり魅力的には見えなかったのに、中身がビアトリスになってお化粧とドレスを変え、堂々と好戦的に振る舞うようになったとたん、別人のように美しくなっていてびっくりしました。特にエルトンと対峙したシーンはとてもカッコ良かったです。
2話	男性と違って、女性には化粧という最高の武器があるのがいいですね。そばかすとか粗をうまく隠すことができる。更にはドレスとかも野暮ったいものからおしゃれなものに変えたら、まるで魔法のよう。すっかり美くなりました。それでも変わらずの態度のエルトンが憎らしいですが、他の令嬢らに見せつけることができそうです。
3話	クレインの動機がわかってスッキリしました。これはかなり疑問だったんですね。こういう事情なら、クレインがメリエルに求婚したことに納得できました。クレインならパートナーとしても不足はないでしょうし、令嬢ランキングの順位をガンガン上げて行って欲しいですね。気になったのはノーラです。身を挺して子供を救おうとしたことは立派なことだと思うのですが、果たしてこれは偶然なのでしょうか。箱の中身は羽毛なので、仮に当たっていたとしてもダメージは殆どなかったはず。令嬢ランキングの点数稼ぎをしようとした可能性がありそうだと感じました。
3話	クレインがメリエルに声をかけてきたのは、なにか良くない思惑があつてのことだったらイヤだなと思っていたので、ビアトリスのかつての仲間の孫だと判明してホッとしました。メリエルの中身がビ

	アトリスである以上、クレインと恋仲になる可能性は低そうですが、最終的にクレインがどういう立ち位置のキャラクターになるのか、今から楽しみです。
3話	婚約破棄の噂を聞いておきながら求婚してきて、何と物好きなのと思いました、祖父からの命令だったのですね。とはいえだから求婚ってすごすぎます。孫を使って恩返して、いったい何があったのでしょうか。簡単に動いてくれるクレインは敵なのか味方なのか。その辺りも気になります。うまく動かせそうな気もするし、厄介者にもなりそう。
4話	時代の違いを痛感しました。ビアトリスが若かった頃と今とでは、ここまで違いがあるんですね。もしも過去の常識に捉われたままだったら、令嬢ランキングが上がることはなかったでしょう。今の時点で気づけて良かったなとホッとしました。フォニーは結婚について悲観的に考えすぎているように思えました。相手が自分より下の身分とかなら、その気持ちも理解できます。しかし、相手は同じ爵位であり、紳士的に接してくれているとのこと。フォニーの令嬢ランキングの圏外であることを考えると、良い相手に巡り合えたのではないのでしょうか。もう少し嬉しそうにしても良いのではないかと感じました。
4話	メリエルのお母さんでビアトリスの娘であるミランダが、娘のことより母親のことを大切に思っているような言動をしていてイヤだなと感じました。そもそもメリエルとビアトリスが入れ替わった際、娘の身体を心配する素振りすら見せなかった時から違和感を抱いていたので、メリエルが気弱な女の子になってしまったのは、ミランダの態度にも原因があるのではないかと疑ってしまいました。
4話	本人に核とした考えがあったとしても、それを次へと伝えるのって難しいものなんですよ。そのせいで孫が窮屈な思いをしていたなんて。ようやくその事実を知ることができて、入れ替わりのおかげですね。ただ、本人も体を壊したり夫も倒れたりと忙しかったのですから、その事実が気が付かなかったのもしょうがないことではあります。
5話	フォニーがダンスを好きだったとは驚きでした。それに、これまでかなり我慢してきたのだとも感じます。だからこそ、クレインと踊る姿は生き生きとしていて素晴らしいものでした。とはいえ、最後の展開が気になります。フォニーのダンスは周囲の人々を魅了し、トーマスに至っては改めて求婚してしまう程でした。大団円を迎えるかと思いきや、まさか邪魔が入るとは。この女性の出現によって、風向きがどのように変わるのか注目したいです。
5話	自分のおじいちゃんから頼まれたメリエルのためだけではなく、フォニーのためにまで、一歩間違えたら自身の評判も落としかねないダンスを踊ってくれたクレインは、やや腹黒そうな見た目に対してかなり優しい人なんだなと思いました。それでも、メリエルの中身が元に戻ったらクレインやフォニーとの関係はどうなってしまうのか、ちょっと心配です。
5話	自分を殺してまでならなければならない淑女って何なんでしょう。いったい誰の得になるのやら。とはいえ、こういう時にルールを守ることを第一優先にクレームを言ってくる人っていつの世の中にもいるんですよね。令嬢ランキングという制度自体が問題あり。これから良い方に変わっていけばいいのですが、なんともめんどくさそうな女性ですね。
6話	クレインのファインプレーが光りました。あの状況を、メリエルー人で何事もなく収めるのは難しかったと思います。しかしクレインは見事に場を鎮めてみせました。しかも、ただ收拾をつけるだけでなく、マナー講師を納得させる形にまで持ち込んだのは見事としか言いようがありません。想像以上に有能な一面が見られ、驚かされました。
6話	最後の展開が気になります。ダイアナが突然勝負を申し込んできましたが、その背景がまったく見えてきません。なぜこのタイミングでそんな行動に出たのか、真意が気になるところです。
7話	ダイアナが想像以上に曲者で驚かされました。正直、もっと勢い任せに挑んできたのかと思っていたのですが、どうやらそうではなかったようです。今回の計画を見る限り、ダイアナなりにしっかりと考えを巡らせた上で、この勝負に臨んでいることが伝わってきました。もしかすると、ビアトリスがオードリーから良く思われていないことまで理解した上で、この勝負内容を選んだのかもしれない。そう考えると、かなり厄介な相手に感じます。
7話	メリエルが何を贈るのかも気になりました。確かに、ビアトリスの知識を利用すれば、メリエルが優位に立つことはできるでしょう。ですが、それをメリエルの中のビアトリスが素直に良しとするのか

	は別問題。メリエルがどのような答えを出すのか気になりました。
8話	オードリー皇太后を喜ばせるのは、なかなか難しいことのように感じました。ダイアナは相応の物をプレゼントをしたとは思いますが、相手はオードリー皇太后です。これまで数え切れないほどの献上品や贈り物を受け取ってきたはずであり、単に価値のある物を贈るだけでは心を動かされないでしょう。そう考えると、この勝負は想像以上に難易度が高いように感じました。
8話	メリエルの贈り物が気になります。本当に欲しい物について心当たりはあるようでしたが、大勢の前で渡して喜ばれるとは限りません。そのため、表面上は普通のを装って渡したように思います。果たしてメリエルの考えはオードリー皇太后に届くのでしょうか。その贈り物が皇太后の心にどのような変化をもたらすのか、今後の展開が楽しみです。
9話	イアナのぶれない姿勢がとても面白かったです。彼女の頭の中は、本当に輝位を手に入れることだけでいっぱいなのでしょうね。メリエルからやりたいことはと問われた時の返答が最高でした。父親からお叱りを受けた時は落ち込んでいましたが、すぐに立ち直ってしまうところも素敵ですね。メリエルですら、そんなダイアナに圧倒されてしまっているのが面白かったです。
9話	オードリー皇太后の対応が気になります。普通に考えれば、メリエルの話は荒唐無稽としか思えません。この話を聞いたオードリー皇太后がどのように動くのか、注目したいです。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス